




ゲートボールの子には無理矢理がよく似合う


脈略もなにもねーですが
ゲボ子は触手怪人に捕まっちゃいました





魔法少女をイカせることで相手の
魔力を吸収する触手怪人は、早速
グイータの性感帯を刺激し始める

まだ幼い性器にインキンチャク
の様な触手が近づくと、クレバ
スを左右に押し広げ剥き出しの
桜色を吸りはじめた。



押し寄せる快感から歯を食
いしばって耐えるグイータ
しかし触手はお構いなしに
責め立て続ける

微細な触手が彼女を隅々まで蹂躪し
吸盤状の口が溢れ出る愛液を貪欲に
飲み込んでゆく

彼の食事はいっこうに終る
気配を見せなかった

首筋に打ち込まれた注射器状の触手から
寄生虫が入り込んでゆく

血管を利用して全身を駆け巡る寄生虫達は
脳や神経に取り付いて、ヴィータの性感帯
を何倍にも敏感にしてゆく

ここぞとばかりに追い立てる
触手達によって与えられる快
楽に頭の中が真っ白になるが
抵抗しようにも吊り上げられ
固定された体は全く身動きを
とることが出来ない。

寄生虫はヴィータの
体内でさらに増殖し、
彼女の性感帯はそれ
に比例して鋭敏にな
ってゆく。




触手達は的確に弱点を責め抜いていく。
グイータから普段の勝気な表情は消え、
涎と涙で顔をグシヤグシヤにして只ひた
すら許しを請う姿からは尊厳の欠片も見
えない。

止まることのない陵辱に
グイータは失神と覚醒を
幾度と無く繰り返した

股関節が外れる寸前まで股を割り開かれ、苦痛に悲鳴を上げるヴィータ

無防備に晒された割目に四本の昆虫の脚のような触手が伸び容赦なく穴を広げていった






限界まで裂かれ、子宮の入り口まで丸見えになった性器に極太の触手が進入し、膣が更に拡張される

触手の先端から伸びた無数の口が子宮口をこじ開け、その中をついてばみ始めた。

やがてヴィータの子宮は彼女にとって最も致命的な性感帯へと作り変えられてしまう




釘バットを連想させるような歪な触手が
グイータを一気に貫いた

一旦子宮口で止まったそれは
ドリルのように回転しはじめ
さらに奥へ進もうとする

常人ならショック死するような苦痛。
しかし寄生虫による神経への作用と、触手に
よって作り変えられた膣と子宮は痛みへの代わ
りに快感を脳に送りつける。
ショック死するほどの快感を……

回転力によって無理矢理子宮口を押し開き
釘バット状触手は最奥までねじ込まれた。
容赦なく膣壁と子宮壁を削っていく



グイータの魔力のほとんどが奪われた後、戦闘力を喪失した彼女の前に、触手怪人の核が姿を現した。

憔悴しきりグッタリとしたグイータを持ち上げ、割れ目に亀頭を押し当てる。一瞬の間の後、彼女の小さな性器に対してあまりにも巨大なペニスを、入る限界まで突き入れた。子宮の最奥を突き上げられ、ショックに仰け反るグイータ。

少女の胸を両手で掴むと、まるでオナホールを扱うかのような乱暴さでグイータの体を上下させる。ペニスが彼女の体内を行き来する度に愛液、涎、涙、汗といった老廃物が飛び散り絶叫が上がる。

触手怪人は、魔力を吸い尽くし既に絞りカスと化した獲物にトドメを刺さんと、貫くつもりでペニスを突き入れる。子宮はサンドバッグと化し、グイータの拳より大きな亀頭で何度も殴りつけた。

亀頭が子宮に叩きつける度に、死ぬほどの苦痛と快楽がグイータの全身を駆け回り、塗り潰してゆく。ひと突きされるごとに彼女の大切な何かが壊れていく。やがて焼け付くような射精のほとばしりを体内に感じながら、グイータの意識はそこで途切れた。

ゲートボールの子には無理矢理がよく似合う

奥付

発行 にゃ～にゃ～興信所

<http://nyanyakoushinjyo.sakura.ne.jp>

代表者 滝原圭哉

tamanyan@sc4.so-net.ne.jp

著者、及び発行者の許可なく本誌の一部、及び全部を転載、複製することや、インターネット上にアップロードすることは禁止いたします。

この本は成人向けです。未成年の方の購入や閲覧は禁止させていただきます。